

第48回日本PTA近畿ブロック研究大会 神戸大会

大会スローガン 繋げよう未来(あした)へのきずな ～あなたの・わたしの・みんなのPTA～

分科会(収録配信) 10月26日(水)～11月22日(火) 全体会(ハイブリッド) 11月8日(火) 会場:神戸ポートピアホテル

分科会テーマ

第1分科会【組織・運営】

学校・家庭・地域が連携して子供たちを育む仕組みであるコミュニティ・スクール等、時代と社会にあわせたPTA活動と運営方法を創造していく。

第2分科会【生涯学習】

学校・家庭・職場・地域社会で行われるすべての学習を生涯学習としてとらえることができる。PTA活動が生涯学習の場として、どのように役立つことができるかを考える。

第3分科会【人権学習】

コロナ禍における、SNSを利用したいじめは未だに見受けられる。いじめや差別は絶対に許さないという強い心と、他人への思いやりの心を育む社会について考える。

第4分科会【青少年健全育成】

子どもの心の成長を導くために、多様化・グローバル化・情報化の社会における、家庭環境と教育環境についての理解を深める。

第5分科会【広報活動】

学校・地域・PTAがお互いをより良く知るために、それぞれのPTAにあった広報活動を選択する。広報紙作成が目的になるのではなく、広報紙によってより良い地域社会を実現する方法を考える。

特別分科会(第6分科会)

テーマ「KOBEの コミュニティ・スクール」

コロナ禍の現状にあっても、9年ぶりの「神戸大会」は、より多くの会員が参加できるようにと、分科会を収録配信、全体会はライブ配信を合わせたハイブリッド形式にて開催しました。実会場では約700名の近畿ブロック(滋賀県、京都府、京都市、大阪府、大阪府、兵庫県、神戸市、奈良県、和歌山県)からの参加者がありました。

全体会アトラクションとしては、プロのなわとびプレーヤーで世界チャンピオンの黒野寛馬氏による、驚愕の縄跳テクニクが披露されました。その中でも五重跳びは、何回なわを回しているのかを数えるようにもあまりにも速すぎて見えず、思わず会場から歓声が上がりました。

ビジネス書部門日本年間ランキングで、3年連続1位受賞(日販調べ)の「人は話し方が9割」の著者、永松茂久氏による記念講演では「繋げよう未来(あした)へのきずな」をテーマに講演され「目の前にいてくれる人に、いまだにできることをする」、「フォーユー精神」の大切さの他、亡き母親の生きざまを通じて得られた教訓が、感動的な母親との対話などを絡めて語られ、会場内では目頭をハンカチで拭う参加者も多く見受けられました。

後日、神戸市はじめ近畿ブロックの会員の方へと先に述べた著書1000冊を寄贈いただき、神戸新聞にも記事として掲載されました。



寄贈いただいた「人は話し方が9割」



永松氏と神戸市スタッフ

PTA神戸

第137号

編集発行
神戸市PTA協議会
〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1丁目3-2
神戸市総合教育センター内
TEL (078) 360-3453
FAX (078) 360-3454
URL <http://www.pta-kobe.jp>
E-mail info@pta-kobe.jp
発行人 吉村 直朗

TR KOBE

本号の主な記事

1面	日本PTA近畿ブロック研究大会
2面	神戸大会PTA入会案内
3面	中学生の主張大会報告 PTAフェスティバル キッズニア甲子園
4面	日本PTA年次表彰 あんしんこらむ



協議会は、子どもたちが成長していくための良い環境を整えていく、**会員組織**です。その中心となる会員(PTA)が、単位ではなかなかできないこと、単位が安心して運営できることを協議し、支援することが役割です。

そのためにも、**神戸市の会員様お一人お一人のご理解とご協力によって、より大きな力となるよう、ご参加ください！**

協議会は、会員の皆様とそのお子様の笑顔を第一に活動する、多くのPTAから成り立っています。そして社会教育関係団体として、規模のメリットを活かし、会員の皆様や子供たちが楽しめる事業、会員相互の情報交換や研修事業、情報を伝えるための広報事業を行っております。この他に、単位PTAではできない保険事業などを主体となり主宰しています。

普段の生活の中で会員の皆様が平穏無事に子供たちを見守っていただけるよう、保護者の一人でもあり協議会の一員である理事を中心に、単位PTAの声にもっと耳を傾け、全市的な団体としての使命を果たすべく、子供たちの健全な育成と会員同士の研鑽に寄与していく所存です。

協議会へは、一つの単位PTAでも、PTA組織に近い保護者会、育友会等でも、正会員として参加できます。本会活動を充実させ、周知させていくよう努めてまいりますので、趣旨をご理解いただき、なお一層のご支援のほどよろしくお願いいたします。
[2023/01 作成]

みんなで考える
神戸市PTA協議会だからできること

詳しいことは
神戸市PTA協議会の
HPをご覧ください！



できること
その1

PTAの「困りごと」や「課題」の解決策を考えます

神戸市PTA協議会は、PTAの現状の中にある、困りごとや課題について、協議会ができる事として、会員の皆様のご意見を取りまとめ、総意として神戸市や関係機関などへ伝えたり、全国のPTA協議会や、文科省等関係団体からの情報の共有、教育委員会との連携により、皆様と一緒に考える機会を持ち、解決のヒントを探求したりすることができます。



協議会のイベントや講演会参加はHPから！

会員ページや機関紙を通してイベント情報を発信します、応募はすべてHPから行うことができます。実参加やオンライン参加も実施中です。

- ◇ 人気講師による講演会やキッズニア甲子園体験など公共施設等への会員価格での参加。
 - ◇ 子どもや保護者が楽しめる企画への親子参加。
 - ◇ 親学び、PTA同士の情報交換の場への自由参加。
 - ◇ 単位PTAの運営に関するご相談。
 - ◇ 会員の皆様に寄り添った内容の保険事業を主宰します。
- ※ 協議会の協賛団体や企業イベントへ、会員とそのお子様に参加できます。
今後モイベント・講演会・ノベルティー等を考えていきます。
協賛企業や団体は通年で募集しております。



充実の保険「園児・児童・生徒24時間総合保証制度」と「PTA総合補償制度」

- ◇ 「園児・児童・生徒24時間総合保証制度」は、会員のお子様の、国内外を問わず、万一のケガや入院、熱中症、コロナ感染症、賠償責任保障無制限等だけでなく、新たにSNS等、人格権侵害等による弁護士費用等保障特約を加え、会員とそのお子様に寄り添った保険内容が充実しています。**会員価格で個人加入でき、加入も保険金請求もスマホで**できます。
- ※ この保険に関しては、協議会加入が必須条件です。募集時点で会員(単位PTA)であればその個人は加入できますが、その後PTAが協議会入会となった場合、保険満期日以降は強制解除となります。会員の皆様には確実に通知をお願いいたします。
- ◇ 「PTA総合補償制度」は、PTA活動に学校園内外問わず、参加中の会員様やそのお子様の万一のケガ等に、主宰する安全教育振興会から**お見舞金をお支払い**します。世帯数×10円(Ｒ4実績)で、団体(単位PTA)で加入できます。安全教育振興会の講演会等へ無料で参加できます。
- ※ この制度に関しては、協議会入会が条件です。安全教育振興会加入については、協議会の事業年度と同一ですので、時期を前後し加入金支払い済みであって、協議会に加入しない場合は、加入自体が無効となりますので、会員の皆様には確実に通知をお願いいたします。

〈その他〉

会員で構成された区や市規模の団体が主宰する事業や研修会に助成金を受けることができます。(助成規定あり)

〈お願い〉

協議会を会員全体で運営していくためには、各保護者様のまとめ役である各学校園団体代表の方に総会へのご参加と、また、その中で常に協議会運営に関わっていただきたい方を理事としてご推薦させていただくこともございます。会議等リモートや書面によるものを中心とし負担軽減に努めつつ、会員の皆様とのパイプ役として、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。(理事の規定につきましては会則に記載されております)

第43回

中学生の主張大会

～作文発表・表彰式～

令和4年12月10日(土)
神戸市総合教育センターからweb配信

今年度の中学生の主張大会は、「私の今の大きな楽しみ、小さな楽しみーこれが私の笑顔の源ー」をテーマに、82校から7,799点の応募がありました。昨年と同様Webによる配信という、コロナ禍に対応した形での開催になりましたが、最優秀賞10名のうち9名の生徒がカメラに向かい熱弁を披露するなど、盛り上がったものとなりました。その結果、塩屋中学校3年の横山育久さんが熱弁賞に輝きました。



生方、各関係者の皆様もこの大会を開くために本気で準備しました。すべての主張作文を出してくれた皆さんも本気で考えてくれたと思います。この本気の一体感が本来のP T A活動の姿だと思っています。感動もしますし、カッコよくもあります。今後もういった活動をしたい行けたらと思っていますのでご協力をお願いします。

今年度のテーマは神戸市立中学校P T A連合会で協議し、たくさんの候補の中から「私の今の大きな楽しみ、小さな楽しみーこれが私の笑顔の源ー」に決定しました。今回主張大会に参加してくれているみなさんはコロナの影響により中学生としての日々の生活様式や学校生活そして学校行事が一変してしまつた世代です。たくさん我慢してきたと思います。しかし、この環境の変化の中においても笑顔のある生活を送っています。その笑顔に表される前向きな気持ちを表現してもらおうという思いから、このテーマに決定しました。毎年ですが、生徒たちはこちらの予想を遙かに上回つた主張をしてくれます。感動し、前向きになれるのは私たち保護者をはじめとする大人のほうです。

コロナ禍で、様々な行事やイベントが延期や中止となつている中、今年度の「中学生の主張大会」が少し違った形であれ、開催できますことを皆様方に感謝致します。これまで毎年たくさんの中学生の皆さんにご応募頂き、今年度第43回を迎えました。ここまで続いてこられたのも、それぞれの想いを語ってくれた中学生の皆さん、そして保護者の方々、先生方、各関係者の皆様方の並々ならぬご尽力の賜物だと思います。心より感謝し、御礼申し上げます。



第43回中学生の主張大会の運営にあたって
神戸市立中学校P T A連合会 会長 齋藤 勝洋

最 優 秀 賞

PTA会長賞 本庄中学校 3年 森井 楓人 日本の未来と赤ちゃん	PTA会長賞 葺合中学校 3年 松下 由沙 私の宝物	PTA会長賞 大池中学校 3年 幣 正宗 ラジオは友達	PTA会長賞 玉津中学校 3年 太田 茉裕 老人ホームのおじいちゃん	教育長賞 烏帽子中学校 3年 大西 莉央 笑顔のおくりあい	教育長賞 友が丘中学校 3年 小林 舞衣 小さな幸せにありがとうを	教育長賞 塩屋中学校 3年 横山 育久 二度目に出会う家族	神戸新聞社賞 兵庫中学校 3年 谷口 颯埜 僕の楽しみーその時がくるまで	神戸新聞社賞 鴨台中学校 3年 香西 真緒 密な青春を過ごして	神戸新聞社賞 駒ヶ林中学校 3年 高橋 茉央奈 絵を描くこと
--	----------------------------------	-----------------------------------	--	-------------------------------------	---	-------------------------------------	--	---------------------------------------	--------------------------------------

優 秀 賞

● 魚崎中学校 3年 瓜谷 航太郎 ● 梅ノ木 3年 土佐 愛子 ● 本山中学校 3年 岡田 成翔 ● 身近なもの 3年 吉井 慎志 ● 住吉中学校 3年 古米 ここみ ● 生活の中に溶け込むパレ ● 御影中学校 3年 永田 敢大 ● 祖父父母が教えてくれたもの ● 向洋中学校 3年 信川 智朗 ● 原田中学校 3年 大悟 ● ストーリー 3年 吉田 実桜 ● 長峰中学校 3年 吉田 宏 ● 小ざな幸せ、大きな幸せ 3年 岩崎 宏 ● 私の笑顔はみんなから 3年 河本 知夏 ● 友達の大切さ 3年 西原 いろは ● 食事と私の生活 3年 植木 荀 ● 布引中学校 3年 原 麻沙捺 ● 推しがいる生活 3年 橋本 沙菜 ● 神戶生田中学校 3年 寺脇 和香奈 ● 須佐野中学校 3年 橋本 沙菜 ● 夢の笑顔 3年 花岡 大樹 ● 心の時間 3年 大樹 大樹 ● 須佐野中学校 3年 寺脇 和香奈 ● 笑顔がこぼれるもの 3年 宇野 莉咲 ● 笑顔を増やせるかは自分次第 3年 所崎 妙子 ● 有馬中学校 3年 所崎 妙子 ● マル秘 私の笑顔の源 3年 佐々木 奏 ● 有野中学校 1年 佐々木 奏 ● 僕らの相棒 3年 中谷 楓 ● 笑顔と音楽 3年 植田 翠月 ● 唐櫃中学校 3年 大北 梨央 ● かけがえのない楽しみ 3年 岡 絢菜 ● 八多中学校 3年 岡 絢菜 ● おじいちゃんの贈り物 3年 巴月 軸子 ● 私の笑顔は周りの支えがあつてこそ 3年 前田 紡 ● 淡河中学校 3年 宮尾 大智 ● みんなで楽しむ 3年 宮尾 大智 ● 山田中学校 3年 大智 大智 ● 笑美 3年 宮尾 大智 ● 広陵中学校 3年 牛尾 美琴 ● 「感謝」の気持ちを音楽にのせて 3年 藤井 伊織 ● 校の宮中学校 3年 藤井 伊織 ● 文字を書き、歌詞を作る楽しさ 3年 川上 杏 ● 朝読は大切な時間 3年 川上 杏 ● 大原中学校 3年 松村 夏奈 ● AI時代における人間の価値 3年 名倉 葉彩 ● 鈴蘭台中学校 3年 名倉 葉彩 ● 私の今の大きな楽しみ、小さな楽しみ 3年 黒川 柚樹 ● 星和台中学校 3年 黒川 柚樹 ● 楽しむの大小 3年 黒川 柚樹	● 雲雀丘中学校 3年 岩津 結夏 ● 心から笑えるように 3年 仲井 心隆 ● 笑顔と幸せ 3年 井川 桜 ● 私のお楽しみ 3年 井川 桜 ● 高取中学校 3年 篠田 優月 ● 私の好きなもの 3年 篠田 優月 ● 長田中学校 2年 小林 佑人 ● 『オムライス』の相棒 3年 森光 真留美 ● 太田中学校 3年 大川 真花 ● 鷹取中学校 3年 大川 真花 ● 点滴穿石 3年 中村 光里 ● 飛松中学校 3年 中村 光里 ● 小さな幸せ、大きな幸せ 3年 中村 優花 ● 大好き、長生きしてね 3年 楠 琴寧 ● ポジティブに 3年 松井 葵 ● 私の笑顔の源 家族版 3年 松井 葵 ● 須磨北中学校 2年 仲東 美音 ● 優先座席 3年 水野 志優 ● 白川台中学校 3年 水野 志優 ● 竜が台中学校 2年 杉本 萌衣 ● 私の元気の源 3年 竹本 汐理 ● 想像する世界 3年 北浦 咲季 ● 垂水東中学校 2年 北浦 咲季 ● 笑顔にできる演奏のために 3年 大澤 悠生 ● 僕とサッカー 3年 有川 京 ● 垂水中学校 3年 有川 京 ● 僕の幸せのひととき 3年 小林 愛実 ● 歌敷山中学校 3年 河村 太智 ● 音楽は私の笑顔の源 3年 河村 太智 ● 星陵台中学校 3年 開發 喬太 ● 多聞東中学校 3年 開發 喬太 ● 自分を支える三つの楽しみ 3年 藤原 沙衣 ● 本多間中学校 3年 藤原 沙衣 ● 私の中のヒーロー 3年 森合 翠海 ● 舞子中学校 3年 森合 翠海 ● 必笑 3年 森合 翠海 ● 神楽台中学校 2年 佐竹 悠真 ● 「楽しみ」の意味 3年 杉山 心咲 ● 太山寺中学校 3年 杉山 心咲 ● 笑顔をもっと 3年 高巢 光希 ● 長坂中学校 3年 高巢 光希 ● あと七カ月の二分 3年 岸本 望央 ● 井吹台中学校 3年 岸本 望央 ● 楽しみから学んだもの 3年 山口 敦也 ● 伊川谷中学校 3年 山口 敦也 ● 僕らの人生 3年 加藤 桂也 ● 堀谷中学校 3年 加藤 桂也 ● 本気の楽しみと本気の笑顔 3年 山口 桜希 ● 桜が丘中学校 3年 山口 桜希 ● 笑顔の源 3年 大塚 悠華 ● 平野中学校 3年 大塚 悠華 ● 毎日のちよっとした楽しみ 3年 岡林 康太郎 ● 西神中学校 3年 岡林 康太郎 ● 最近の出来事と楽しみ 3年 藤中 悠乃 ● 笑顔をつくる自然のために 3年 藤中 悠乃 ● 岩岡中学校 3年 大西 桜姫 ● 小さなことから...
--	---

第19回神戸市WebPTAフェスティバル

神戸市PTA協議会が考える私たち親の役目は、他人への思いやりを忘れず、穏やかな、安心できる家庭環境を子供たちに与えることだと考えます。そこで、コロナにより行動制限を余儀なくされた子供たちによるパフォーマンスの場を作り、親だけでなく、遠方の親戚や友達、頑張る姿を見てもらえるよう神戸市PTA協議会のHP上に、PTAフェスティバル仮想会場を設け、投稿を募りました。

また、大切な人への思いを詩歌や写真で伝える「思いを伝える展示会」では、64点のミニレター、51点のフォト・イラストの応募がありました。

【仮想会場】 YouTube 配信期間 11/20～12/26



「笑顔が花咲くKOBET子」
神戸市立幼稚園



西区子ども会連合会
ハッピーホッパーズ



仲間を信じて！ゴールを目指せ！
～one team～
FCアレグラツ神戸MW



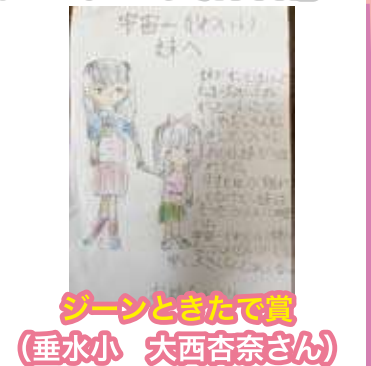
こども編集部×
ワンダリズムyoutube

【思いを伝える展示会・入賞作品】 (神戸市PTA協議会 HP でいつでもご覧いただけます)

フォト・イラスト部門



神戸市PTA協議会賞
(井吹の丘 知花琉さん)



ジーンときたで賞
(垂水小 大西杏奈さん)

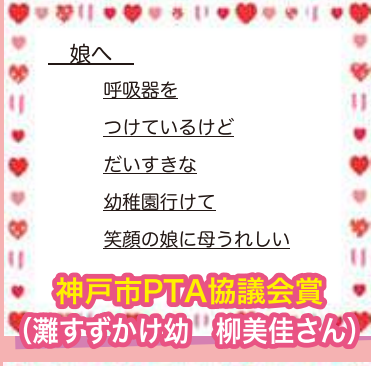


ほのぼの賞
(糀台小 中島美香さん)

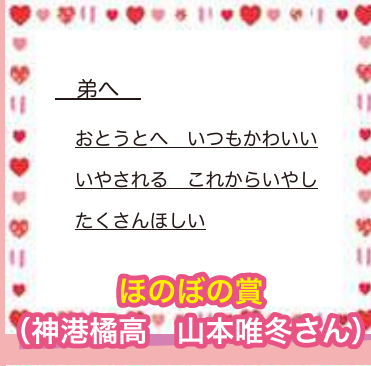


笑顔になれたで賞
(五位の池小 辻由美さん)

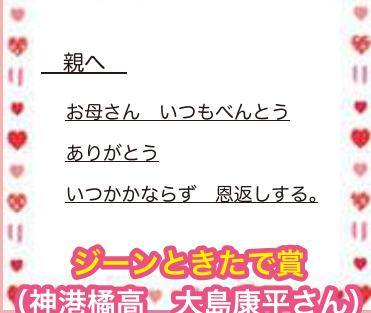
ミニレター・三行詩部門



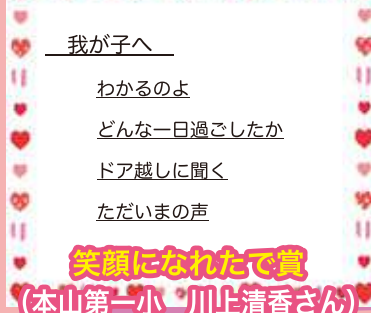
神戸市PTA協議会賞
(灘すずかけ幼 柳美佳さん)



ほのぼの賞
(神港橘高 山本唯冬さん)



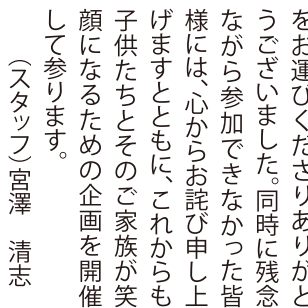
ジーンときたで賞
(神港橘高 大島康平さん)



笑顔になれたで賞
(本山第一小 川上清香さん)

キッズニア甲子園

令和4年12月26日(月)



「あこがれの職業体験で、夢を未来へ!!」というキャッチフレーズのもと、令和4年度の神戸市PTA協議会文化事業としてキッズニア甲子園へ行ってきました。事前に申し込みをいただいた56名の方々(多くの方々がお申し込みをいただいたのですが、超人気企画のため申し込み開始からすぐに定員が埋まってしまいました。)と引率の5名が二台のバスに分乗し、一台は西神中央から東灘経由でもう一台は湊川神社から目的地であるキッズニア甲子園へと出発し、予定通りに現地スタートとなりました。

現地に行きますと、子供たちは早速思い思いの職業体験へと向かっていきます。一方引率の大人たちは一つ所に集まっておの情報交換。参加者の様子を見に行くと、顔を輝かせて職業体験をしている子供たちの姿。彼らに「何が面白かった?」と聞くと、「○○」「△△」と、弾んだ声で教えてくれました。中にはキッズニア常連の方々もいたようで、人気の職業体験をうまく制覇している子たちもいました。

また昼食の頃を見計らって見に行くと、母親同伴の参加者がお目当ての昼食を楽しそうに食べている姿も見られ、何かほのぼのとしたものを感じました。

その後、午後3時までの体験時間を、最大限有効に使いながら参加していました。

コロナ禍で、これまでなかなか外出できず我慢してきた子供たちが、ようやく外出制限のない年末年始を迎えつつある中、こうして集うことができたキッズニア。冬休みの思い出の「コマ」としていただければ引率側も望外の喜びです。

最後になりましたが、参加してくださった皆様、朝早くから子供たちを送り出し、時には自らも足をお運びくださりありがとうございました。

ながら参加できなかった皆様には、心からお詫び申し上げます。これからも子供たちとそのご家族が笑顔になるための企画を開催して参ります。

(スタッフ)宮澤 清志

「あこがれの職業体験で、夢を未来へ!!」というキャッチフレーズのもと、令和4年度の神戸市PTA協議会文化事業としてキッズニア甲子園へ行ってきました。事前に申し込みをいただいた56名の方々(多くの方々がお申し込みをいただいたのですが、超人気企画のため申し込み開始からすぐに定員が埋まってしまいました。)と引率の5名が二台のバスに分乗し、一台は西神中央から東灘経由でもう一台は湊川神社から目的地であるキッズニア甲子園へと出発し、予定通りに現地スタートとなりました。

現地に行きますと、子供たちは早速思い思いの職業体験へと向かっていきます。一方引率の大人たちは一つ所に集まっておの情報交換。参加者の様子を見に行くと、顔を輝かせて職業体験をしている子供たちの姿。彼らに「何が面白かった?」と聞くと、「○○」「△△」と、弾んだ声で教えてくれました。中にはキッズニア常連の方々もいたようで、人気の職業体験をうまく制覇している子たちもいました。

また昼食の頃を見計らって見に行くと、母親同伴の参加者がお目当ての昼食を楽しそうに食べている姿も見られ、何かほのぼのとしたものを感じました。

その後、午後3時までの体験時間を、最大限有効に使いながら参加していました。

コロナ禍で、これまでなかなか外出できず我慢してきた子供たちが、ようやく外出制限のない年末年始を迎えつつある中、こうして集うことができたキッズニア。冬休みの思い出の「コマ」としていただければ引率側も望外の喜びです。

最後になりましたが、参加してくださった皆様、朝早くから子供たちを送り出し、時には自らも足をお運びくださりありがとうございました。

ながら参加できなかった皆様には、心からお詫び申し上げます。これからも子供たちとそのご家族が笑顔になるための企画を開催して参ります。

(スタッフ)宮澤 清志

「キッズニア甲子園体験」レポート

「コロナ禍でもできる、子供たちの笑顔のために「キッズニア甲子園」で職業体験を行いました。

親の手を離れて色々な職業を体験することで、自分で考え行動するという自主性を育むことができます。

体験する中で、「自分のやりたい夢を見つけその夢を実現していきたい」という気持ちを未来につなげていけたらどんなに素晴らしいことでしょう。

キッズニアに着くまでは少し不安そうな表情の子どもたちもいましたが、いざ中に入ると、そこは子どもたちの世界。しだいに表情が明るくなり目がキラキラと輝きだしました。

1人で参加していた子供たちも、まず1番行きたい所に行つて予約をとったり、それまでの時間はすぐできそうなお場所をさがしたりと、職業体験を楽しんでました。以前、自動車免許をとっていた子は「今回はレンタカーで遊んだ。」と、嬉しそうに自動車に乗っていました。いつも人気だというピザ屋さんは、あつという間に受付終了。食品関係は人気があります。

今回初めての参加の親子は、子供が大好きな消防署での職業体験を楽しんでいました。子供たちだけでなく、親も嬉しそうだったのが印象的でした。

「何が楽しかった?」と聞くと、「キッチンリフォームセンター」と答えた子供たちがいて、実際にどんなお仕事をするのか聞いてみました。「キッチンリフォームセンター」は今年の12月22日からスタートした新しいパビリオンで、12月28日までオープン記念限定缶バッジをもらえたようです。キッチンプランナーとして、お客さまからの要望や悩みを理解してリフォームプランを提案。「これがいいかな?」「こっちがいいかも」と色々考えながら仕事をしていたと、担当の方もよく覚えてくださっていました。

クライミングビルディングにチャレンジする子供たちもいました。本格的な器具を着けて、ヘルメット、作業服を着、真剣な表情で説明を聞き、垂直のビルの出っぱりを手と足をうまく使って登っていました。

昼食は、仕事の合間を利用していました。兄弟で参加している子は、声をかけあい仲良く体験している姿が見られ、微笑ましく感じました。

6時間という長い時間でしたが、時間を持て余すこともなく、充分楽しむことができていたようで、終了後集まった時の表情がとても満足気でした。朝も早かったので、帰りのバスは疲れて寝てしまいう子もいました。

全員が無事に帰ることができた良かったです。家に帰ってたくさん土産話をしてくれているのではと思います。

(スタッフ)植田 雪代

お問い合わせ：078-360-3455（月・金）AM10:00～PM3:30